

## 元号が「令和」に変わります

5月1日(水・祝)から、新しい元号「令和」に変わります。

市が発行した保険証や医療証、納付書、その他文書で、期限などの日付が平成31年5月以降になつていているものは、無効にはなりません。令和〇年に読み替えて使用や納入をお願いします。

【例】「有効期限 平成33年3月31日」↓「有効期限 令和3年3月31日」に読み替え。



## 筑紫野市で詠まれた 大伴旅人の万葉歌

新元号「令和」は、日本に現存する最古の歌集『万葉集』を典拠とし、大伴旅人(おおとものたびと)が大宰府長官時代に邸宅で開いた宴「梅花の宴」で詠まれた歌の序文から引用されました。

大伴旅人は在任中、現在の筑紫野市でも歌を残しており、市内でその歌碑を見ることができます。

橘の  
花散る里の  
ほもとぎす  
霍公鳥  
片恋しつづ  
鳴く日しそ多き



文化会館前(上古賀)

湯の原に  
あしたづ  
鳴く葦田鶴は  
わがごとく  
妹に恋ふれや  
時わかず鳴く



パープルホテル二日市前(湯町)

## 「広報ちくしの」をリニューアルしました

今号から「広報ちくしの」をリニューアルしました。

表紙は、上部に余白をつくり、タイトルを大きくすることで見やすく、分かりやすくしました。

また、リニューアルに伴い、2箇所と同じ穴をなくしました。今まで、同じ穴が表紙などの写真に写る人の顔や

体に重なる場合があり、レイアウトが大幅に制約されていましたが、まちの活気が伝わるような写真を掲載していきます。

内容についても、今まで以上に分かりやすく、読みたくなる広報紙づくりを目指します。これからも「広報ちくしの」をよろしく願います。

とじ穴をなくし、  
活気ある写真を!

タイトルを  
分かりやすく!



元号に関する表記について 新元号「令和」が公表されましたが、本紙の発行時点では改元の施行前につき、平成31年5月以降も「平成」を使用しています。改元の施行後は読み替えをお願いします。